

令和6年度 体力向上における各校の取組みと成果（中学校）

坂井市

教育委員会

No	学校名		項目	具体的な取組み	成果
1	三国	中学校	児童生徒の運動習慣の育成について	課題を解決するために生徒同士で話し合いや教え合いが自然と生まれる仕掛けを増やし、体育が好きになるような授業づくりを行った。	ペアやグループで課題を見つけ、解決する活動を増やすことで、体育が苦手な生徒も積極的に取り組む姿が増えた。
2	丸岡	中学校	本校の体力向上の取組みについて	体育委員会が中心となって、体力テストの記録上位者の紹介を行い、意欲の向上につなげた。また、昨年度の県や自校の平均記録を提示することで、目標設定をしやすいとした。	男子の反復横跳び、女子のボール投げなどで、全学年が県平均記録を上回ることができた。また、20mシャトルランは学年が上がるにつれて県平均との差が大きくなっており、在校中の体力向上が見られた。
3	丸岡南	中学校	本校の体力向上の取組みについて	毎時間、ウォーミングアップとして走運動に取り組み、スピードの向上を図った。	平均値で見ると、体力テストで2年生は全種目で昨年度の1年生の記録を上回った。3年生では、持久走で昨年度の2年生の記録より下回ったが、多くの種目で昨年度の記録を上回った。50m走に関しては、女子は全学年で県平均・全国平均を上回る結果となった。
4	春江	中学校	本校の体力向上の取組みについて	積極的にICTを活用し、生徒の考えを深まるような学習を進めた。	ICTを活用することで、ボールを操作しない時の動きを全体で共有し、めあての活動に生かすことができた。
5	坂井	中学校	本校の体力向上の取組みについて	昨年度の課題であったボールを投げる運動を導入で多く取り入れるなどの工夫を継続した。	体力テストの結果、ボール投げでは、多くの学年で男女ともに全国平均と同等かそれを上回る結果となった。